

城南塾

城南では、毎年SSH（スーパーサイエンスハイスクール事業）の講演会（城南塾）として、各界で活躍されている方をお招きし、在校生を中心にお話をしていたいております。

今回は、十一月十六日（木）に城南高等学校同窓会事務局長の網島久美子先生（昭和五十五年卒業）をお招きしました。網島さんは、大学卒業後に警視庁に警察官として就職され、都民の安全を守るために仲間とともに日々活躍されていきました。その後、結婚を機に退職されましたが、再任用職員として再び警視庁や赤坂警察署にて勤務されました。そして、平成二十五年に徳島に戻られてから念願のシエバードを飼い始め、嘱託警察犬と指導員を目指すことになりました。週四日の訓練を四年間続けられ、ようやく年二回ある競技会で毎年合格できるようになりました。その後、令和四年に行方不明となった高齢者の捜索に当たり、愛犬のバーバラとともに出動して無事に九

十代の女性を生発見することができました。

これらの詳細は、渦の音六十九号の先輩寄稿に掲載されているので割愛します。これを讀んだ生徒や職員から、是非話を直接聞いてみたいとの要望が上がりました。そこで網島さんをお願いすると快く引き受け下さり、今回の講演となった次第です。また、もう一人（犬？）の主役であるバーバラにも登場して欲しいというお願いも聞き届けて頂けました。こうして、城南塾講演会では初めて講演者と警察犬のペアを体育館にお招きすることになりました。講演内容は割愛させていただきますが、講演を聴いた生徒の感想を掲載します。

101HR 勝瀬 真衣

「自分の道は自分自身で決めること」。「人生でやったことに無駄なことはないということ」、「自分の人生について悩んでい



ない人はいないということ」。これらの言葉を聞いて少し心が軽くなった気がします。私は優柔不断なところがあるので遠回りをしてしまったり、周りの人達の意見を聴いて決断してしまったりしがちです。私がやりたいことがあるけれど、将来困ることなく安全に進める方へどうしても傾いてしまい、後で失敗するのが嫌で諦めたけれどやっておいたら良かったと後悔したこと

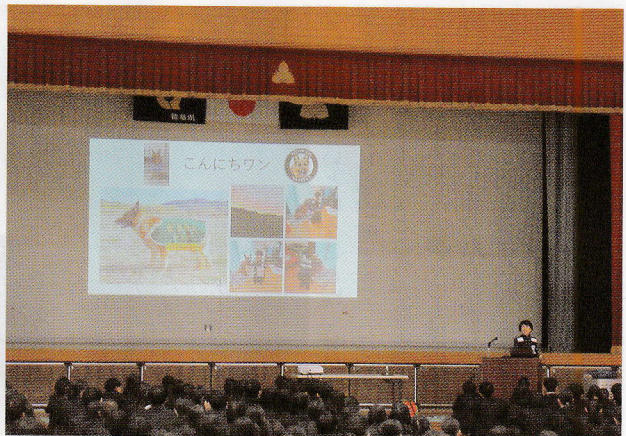
があります。けれど、成功してもしなくても人生においての無駄にならないと考えると、これから先、大きく人生を分ける重要な決断も自分がやりたいことに向けて自信を持って決断することができそうです。また、はつきりと決めることができているなかったので、私自身の目標が特になく、勉強においても部活動においても精を出してやった感じが全然ありません。そこで、今回講演会で言った言葉に「まあいっか」と軽く流し、新しいことにチャレンジする時も「さて」と軽いまま全力でやっていきたいです。手紙や拝啓十五の君へは受験期であった中学三年生の時に音楽で歌ったり、個人で家できいたりしていた曲です。中学三年生の時も進路のことでもすごく悩んでいたことを思い出しました。先が分からない未来を悩みながらも自分自身で後悔がないように決めていきたいです。

105 H R 檜作 世莉

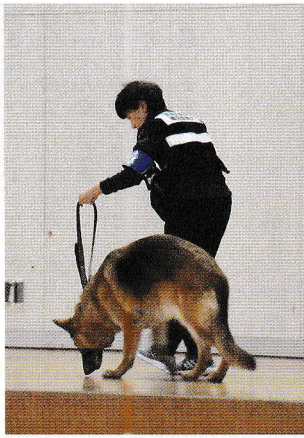
綱島さんの話を聞いて人生について改めて考えるきっかけになりました。将来のこ

とへの不安を抱える今だからこそ、この講演会では心に刺さることがたくさんありました。まず、「人生とは心で決まる」ということが特に心に残っています。失敗をおそれ、他人任せになるのではなく、強い心を持って、自分自身を信じるのが大切だと気付きました。綱島さんのように、興味があること、自分の目標を追い求め続けられる重要さを学びました。何事も最後まで諦めず、忍耐強さを持って、いろいろなことに挑戦していきたいと思いました。そして、今も昔も変わらないみんなの将来への不安があることを知り、少し心が軽くなりました。未来への不安や大人になることの違和感は誰しもが抱える悩みだと知り、その中で、自分自身を肯定し信頼することの必要性や大切さを感じました。自分へのプレッシャーから逃げるのでなく、まずは自分の声や本音を心の底から信じることから始めたいと思いました。その他にも、バラさんと綱島さんの信頼関係を見て、これまでの苦労や努力を身にしみて感じました。たくさんの努力があったからこそ、こうして警察犬として活動していることがとても素晴らしいと思いました。私も、バー

バラさんと綱島さんのように、くじけず前を向いて、自分の目標に向かって、突き進んでいきたいと思っています。不安や悩みが一人で解決できないときは、たくさんの人から意見やアドバイスをもらい、自分自身の心とも寄りそっていく人生を歩んでいきたいと思っています。



城南塾講演会を通して、生きていくうえで大切なことを学ぶことができました。綱鳥さんの経歴を聞いて感じたことがありません。それは、行動力がある方だということです。自分で興味があると思つたらすぐに行動に移してすごいと思いました。「明日に気づくよりも今日気づくことができましたからよかったです。」私はこの言葉を聞いて、何か始めようと思つた時に遅いかなと思ひ諦めるのではなく、何事も始めることに遅いことは無いんだと語りかけてくれたように感じました。



また、綱鳥さんのお話を聞いて心にぐつときたところがあります。私は今学校生活

を過ごしていて違和感を感じる事が多くあります。友達と話してて少し違うな、これっておかしいことなかなと感じていました。しかし今回の話を聞いて少し心が軽くなりました。今すぐしている狭い環境にとどまったことだから焦らなくていい。

世界はもつと広く大きなものだから、これから探していけばいい。探していく努力をすることが今の自分に大切だよということ伝えてくれてとてもうれしかったです。悩んだ時は、綱鳥さんが教えてくれた「まあいいっか」「さて」という二つの魔法の言葉を思いだしてこれから生きていきたいと思ひました。

因果応報という言葉があるように、いい事をして巡り巡って自分にもいい事が起くる、そんな風な考え方になって過ごしていきたいです。そして、自分軸を持って自分に正しくあり続けられる、そんな自分になっていきたいと思ひました。

201 H R 其竹 志乃

今まで様々な講演会を聴いてきた中で、個人的に一番心に刺さりました。パーバラ

がとても賢く、彼女のように一生懸命訓練を受ける警察犬達がいるおかげでたくさん

の命が救われていることを痛感しました。警察犬に関する本を読んだことがあります。大型犬ということもあり怖がられてしまふことも多い中、人の為に日々活動してくれるその姿は、まさにパーバラと重なるものがあつたと思ひます。そして綱鳥さんの言葉の一つひとつが、進路や人間関係など多くのことに悩む今の心情を包み込んでくれる気がしました。幸せはいつも自分の心が決めるという言葉を聞いて、SNSなどで簡単に人とつながることができるよう、無意識に他人からの評価が自分の幸せの指標になっていたかもしれないと気付くことができました。自分の人生の主人公は自分で、そのシナリオはいつからでも描き直せる。高校生になり受験が少しずつ近づいてくる日々は正直辛いものがありますが、この言葉を、今日の講演を思い出しながら頑張らなければならないと思ひました。また、講演中にかかった「手紙」は何度か聴いたことがあります。高校生になった今改めて歌詞を見て聴くと、あの頃とは比べものにならないほどつむがれる詞の意味の

深さにハッとしました。歌の中の「十五の自分」のように悩み迷う私も、大人になれば「そんなことあったよね」と笑いながら話せるのかなと思うと、少し将来が楽しみです。本当にこの講演会をきけて良かったと思います。

205 H R 西森 諒

今回、綱島さんの講演会を聞いて、人生についての考え方が変わりました。講演会の中で最も印象に残っているのが、綱島さんが何度も背中を押された「今から始めても遅くはない」という言葉です。僕も何をやるにも行動するのが遅くなってしまいうことがよくあり、したかったことやしなければいけないことをあきらめてしまいうことが多々ありました。しかし、綱島さんの話をきいて、今からやればあきらめたり、先延ばしにしたりする必要はないということを知り、行動を早くするのは簡単ではないけれど、行動することを決定してから頑張ることではできると思えるようになりました。また、綱島さんが退職され、徳島にUターンし、自分は警察犬の指導に関して知識がた

くさんある訳ではないのに、スタートが周りよりも遅いバーバラちゃんを警察犬にさせたことが本当にすごいと思った。厳しい障害もたくさんあったはずなのに自分がやってみたいと思うことに向けて一生懸命努力していて、僕も自分の気持ちに正直になって、目標を目指して頑張ろうと思った。そして、もう一つ心に残った言葉がある。それは、「できない犬なんていない。人が教えられていないだけ」という言葉だ。これは、始めから自分にはできないと限界を設定し、あきらめてはいけないというようにきこえた。約一五〇年続く城南高校の生徒であることを誇りに思い、自分が決めたことはあきらめず、自分を信じて挑戦し続けようと思いました。

205 H R 溝杵 文香

私は、この講演会で言葉の持つ力がどんなにすごいものかと気づかされました。特に「まあいっか」、「さて」という言葉です。この言葉は今まで生きてきた中で数えきれないほど聞いてきたし、使ったこともあります。けれど、今まで、この言葉に人



生を前向きに進んでいく力があつたなんて知りませんでした。綱島さんが人生を前向きに歩いていくための二つの言葉をお伝えして下さる時、私は長々とした名言のような言葉を伝えて下さるのだらうと思っていました。なので、私は少し驚きましたが、それと同時に、逆に感動を覚えました。たったの五文字と三文字という、声に出していても一秒もかからないような短い言葉ですが、それがそんな「短い」たったの一言が



私達の「長い」人生を前向きに進んでいくための大きな力になる、と気づくことができました。そしてまさに今、将来の事で悩み、不安を感じているときです。誰にも打ち明けられない事もあります。努力をすればするほど、結果が出なかつたらどうしようかと怖くなります。けれど私自身が自分の心で選択し、その選んだ道を信じ続けていけば大丈夫だという、網島さんの言葉に勇気をいただきました。これからはまず、今

自分が決めた夢に向かって努力していこうと思います。そして、もしその中で違うなと思ったら、「失敗だ。」とか「間違えてしまった。」なんて思わずに、また自分で将来を描き直していけばいいだけだ、という気持ちで生きていこうと思います。本日は、ありがとうございます。

206 HR 田中 芙美

この講演を聞いて、自分の気持ちに素直に生きようと思いました。自分の人生において主人公は自分しかないからこそ、自分軸を大切にして多くの人の意見や考えを取り入れて自分が成長していけるように生きていきたいです。また、目的を持って生活していきたいです。手紙、拝啓、十五の君へを聴いて幼いときから聴いていたので、涙があふれそうでした。今、勉強や部活、人間関係に悩み、たくさん悩んできたからこそ自分と照らし合わせられることがあり共感できました。悩んでいることは悪いことではなく、自分が前に進むことができ努力している証と捉えることができました。自分のために悩んで、自分のために行

動していく価値に気づかさされました。中学生から高校生になったとき、世界がとてと広がったと実感したけれど、これよりも広く交わっている世界を知ってみたいと思いました。またそこで新しい自分を知れるかもしれないし、人と関わりあって成長できるかもしれない楽しみが生まれました。進路の悩みなどたくさんあるけど一歩でも外の世界に踏み出して視野を広く持りたいです。私は自分軸があまりなく、周りに流されやすいし合わせてしまいがちな性格です。でもそれは相手の気持ちを考えられるなどとポジティブに考えられることにも気づきました。そして、自分から行動して自分の意志表示がしつかりできる大人になっていきたいと網島さんを見て感じました。自分には何があっても何が足りないのか、自分をしっかりと見て向き合って自分が本当にしたいことを理解できる人になっていきたいです。

207 HR 近藤 涼子

私は、講演会中に網島先生が何度もおっしゃっていた「明日気づくよりも今日気づ

いたほうが勝ち」と、「順風満帆でもいつか大どんでん返しがある」という二つの言葉が心に残りました。高校生はみんな自分の進路やしたいことに悩んでいると思います。でもそれは誰もが通る道で悩んでいるのは自分だけではないと思うと心が軽くなりました。私自身もいつも何かをし終わったあとに、「もつとこうすればよかったな」と後悔することがよくあります。そのつど、次はもつとこうして挑もうと気づきが増え、自分自身が知らないうちに少しずつですが成長しているのかなと思いました。

私もここ最近自分にとって嫌だなと思うことがありました。今までのごく調子がよかったのに一瞬にして崩れてしまい、先生がおっしゃっていた「順風満帆でもいつか大どんでん返しがある」という言葉が響きとても共感しました。私の性格上重く受け止めてしまいがちですが、「まあいっつか」を軽く受け止め次に進むのも一つの手だなと思いました。

私の人生は私が主役なのでこれからも楽しいことつらいこと、苦しいことたくさんあると思うけど、自分にとってベストな形で過ごしていきたいと思います。

今回、網島さんの講演をきいて、心に残ったことが大きく分けて二つありました。一つ目は、「自分の軸をぶらさない」ということです。網島さんもおっしゃっていたように、周りの友達や、自分自身も、将来のことや進路のことで悩むことが増えてきました。そんな時は、自分の心に素直になつて、今自分はいちばん何がしたいのか自分自身と向き合うことが大切だということが分かりました。周りの人の言葉や行動に流されないように、自分を強くもって生きていこうと思いました。二つ目は、「ま、いっか」「さてと」という言葉です。私は、何か失敗をしてしまうと、落ち込んでそのミスを引きずってしまい、なかなか立ち上がれないことがよくあります。網島さんの「ま、いっか」という言葉には、起きてしまったことを素直に認めながらも、前を向こうとする意味が含まれていると思います。また、「さてと」という言葉にも、未来のことを考えて行動しようとするポジティブな意味であるように感じました。これから、受験や就職活動などだけではなく、

たくさんの失敗や困難があると思うので、そんなときは、「ま、いっか」「さてと」という言葉を思い出して、前に進んでいきたいと思えます。そして、網島さんとバラのように、自分にとって最高の人生を作っていけるように、自分の「心」を大切にしたいです。今日の講演で学んだことを直ぐつき進んでいきたいです。

